

# ま な や 目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.10 2005年10月4日発行 発行人 関野祐二  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 URL <http://www.seikai-seminary.org>  
電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804 郵便振替口座 00190-1-85761 「聖契神学校」

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。

玄関前の朝顔やハイビスカスも最後の花を咲かせ、接近中の火星も夜更けに東天高く輝き、めっきり秋らしくなってきました。前期授業が終わり、学期休み中のキャンパスもひっそり。試験疲れを癒す人、旅行に出かけた人、後期準備の読書に励む人さまざま。自分も含め、メリハリをつけて後期授業に向かいます。今、この時、この環境に置かれている意味をかみしめたいですね。

「どうか、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころに関する真の知識に満たされますように。」(コロサイ 1 : 9)

校長 関野祐二

## ● 福音主義神学会へ応援団来る

ちょうど一年前、宣教学担当の小川国光師が理事長をしているJEA（日本福音同盟）の神学委員会に加えられた関係から、6月20日の福音主義神学会東部部会・春の研究会で、米国キリスト教原理主義について発表をするよう求められました。9・11以降の米国の右傾化とイラク戦争強行の背後に米国福音派教会のブッシュ支持があることには強い違和感と疑問を抱き、個人的に本を調べてはいましたが、研究会での発表となると話は別。ちょうどこの時期、苦心惨憺の訳書「ティンデル聖書注解エゼキエル書」の校正追い込みと、これまた飛び込みの百万人の福音聖書日課担当開始が重なり、毎週の組織神学講義準備と相まって、とんでもない状況に追い込まれました。寝ても覚めても、ああ原理主義。クラス学生に愚痴をこぼし、慰めてもらう始末。教える側、教えられる側の垣根など、とうに越えています。研究会が公開であることに目をつけ、発表当日の応援団を学生の皆さんに要請(懇願!?)。睡眠時間を削りつつ、その日を迎えました。

当日、始まる1時間も前から聖契の神学生たちが続々と来場。開始時には総勢12名も駆けつけ、最前列を陣取って旗を振らんばかり(?)。なんと深い慰め・励ましだったことでしょうか。なんの素養もない私にはおよそ場違いの研究会でしたが、どうにか乗り切ることができました。この時の発表内容は、クリスチャン新聞10月2日号から連載されていますので、お読みください。

## ● 来秋から礼拝学が復活します

諸般の事情で2000年度以降開講していなかった「礼拝学」クラスが、リニューアルされて2006年度後期より、基礎科科目(20回4単位)として復活します。担当は、同盟基督<sup>とどろき</sup>・等々力教会牧師でTCU非常勤講師でもある、井上<sup>ただし</sup>義師(実は私の神学生時代クラスメート)。礼拝音楽研究会など、福音派内はもちろんエキキュメンカルなグループでも活躍中の、新進気鋭の教師です。クラスは、礼拝学と教会音楽を合わせた、盛りだくさんの内容になる予定。すでに専門科に上がった在校生も、できれば履修してほしいと願っています。なにせ、神学校を卒業して教会に

遣わされたとき、最初に行う働きは礼拝の御用なので。これで基礎科は60単位となるので、バランスをとるために、1年では消化しきれないとの意見が多かった専門科「組織神学」を4単位増やし（前期は週2日、後期1日）、「組織神学Ⅲ」を加えて専門科60単位としました。全科目必修ですから在校生にはさらなる負担となりますが、恵みと思って履修してくださいね。

## ● 煙突解体と外水道設置

あれは忘れもしない8月17日、北側駐車場に見慣れぬコンクリート塊が落ちているのを発見。さてはと思って上を見上げたら、なんと今は使っていないボイラー用煙突の先端が欠けています（若い頃神学校敷地内に住んでいたP先生は、煙突の外梯子をよじ登って叱られたそう。だから壊れた？）。前日の、宮城県を震源とする地震で崩落した可能性大。事故があったら一大事なので（賠償責任保険には加入していますが）、すぐに付近を立ち入り禁止にして、業者の見積もりを複数取り、会議を経て解体工事を決定。ちょうどこの学期休み期間中に工事を行っています。地上10mを優に超える足場は見事です。修理とか解体とか、発展性のない話題は寂しいのですが、この本館も築38年。危険な部分をきちんと対処しながら、上手に使っていきたいと思います。急な出費がかさむこととなりますので、僭越ながら、お祈りとご支援を重ねてお願いいたします。

とはいえ、壊す話ばかりではありません。正面玄関下、ゲストルーム外壁付近に悲願の（！？）外水道が設置されました。従来、なぜか南側に外水道がひとつもなく、北側から延々とホースを這わせて、園芸主任が水やりをしていたのでした。水道ひとつでも大いなる励まし。植え込みに度々出没するガマガエル（どうも複数棲息しているらしい）も、きっと喜んでいるはずですよ。

## ● 献身者の集いを今年も行います

恒例の「献身者の集い・公開授業・オープンキャンパス」が、今年は10月15日（土）に行われます。午前のチャペル説教は、在学中数々のエピソードを作り、「97年組の女将<sup>おかみ</sup>」と名高い荒牧素子先生。卒業後もずっと聖契神学校を支え続けてくださっている功労者です。公開授業は、私の「新約緒論」だけだと印象が偏るので（！？）、教会史担当の丸山悟司師に「教会史特講」をお願いしました。声優張りのバリトンが魅力ですよ（おっと、内容も）。すでに教会史履修済の在校生も出てください（新約には出ないでしょうから）。学生会主催昼食会も楽しみ（特に証しが）。午後の特別講演会は、同じく丸山先生に「教会史に見る献身者像」というお題でお願いしました。研究熱心な師のこと、準備に余念がないようで期待が膨らみます。

## ● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 10月11日（火）より始まる後期授業のため。在校生45名と教師12名の学びや授業準備、健康、霊性、教会奉仕、家族や働きが支えられるように。後期より加えられる聴講生（5名の予定）の学びのため。特に、卒業を控えた10名には最後の学期です。
- ・ 10月15日（土）「献身者の集い・公開授業・オープンキャンパス」に多くの方々が来校され、本校での学びを希望されるように。今後の学生募集に多くの反応があるように。
- ・ 神学校が学びの充実と教師研鑽、交わりと霊的成長、運営や経済的満たし等の各面で支えられるように。諸教会の支援と祈りの中で、諸教会に仕える働き人を養成する超教派教育機関としての役割を、十分果たせるように。
- ・ 神学校施設保守のため。既存の施設をより良く活用できるように。経済的支えのため。